

半切四分の一に書くⅡ (5)

締切り 五月二十五日 (必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 江月照千家(唐・岑参の語句)

〔大意〕 江辺にのぼる月は家々を照らし出している。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔変換例〕

(言) 言
(葉) 葉
(確) 確
(想) 想
(精) 精
(神) 神

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。
◎実力ある方の共通点は、基本がしっかりしていて、字典をよく引くということです。字典で調べて、オリジナルな作品に仕上げてください。最初は面倒ですが、格段に実力がついてきます。

奥村暢之書
使えないものは
思想も精神も曖昧だ

おくむらのぶゆき 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

行
詰
展
開
一
歩

	展	行
	開	き
	の	詰
吉	一	ま
川	歩	り
英	で	は
治	あ	
	る	

おおたにせいじょう 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範⇨行草または草書
▼師範⇨行書

◆6月課題予告(楷書)
生きる上で大事な
ことを子供は
大人を見て覚える

★言葉を…(書体⇨行草または草書)
唐木順三(二九〇四〜一九八〇)
哲学者
自分の思っている事や考えている事
を言葉をきちんと使って表現できな
ければ、自分の考えを相手に正確に伝
える事はできません。もしそれができ
ないとしたら、自分自身がその考えを
明瞭に捉えきれないという事になる
と云っています。

◆6月課題予告(行書)
誘惑から逃れる
唯一の道は
それに屈服する事

★行き詰まり…(書体⇨楷書)
吉川英治(一八九二〜一九六二)
昭和期の小説家
人は行き詰まった時に、初めて考え
を巡らします。だから行き詰まったか
らといって嘆くことはないと言ってい
ます。
行き詰まることは成長の証であり、
そこから別のものが見えてくる始まり
でもあります。

準初段から六段まで

新入から1級まで



者^者天^天三^三那^那耳^耳利^利希^希梨^梨
春尽きて山みな甲斐に走りけり

川^州万^万二^者介^介里^里
春尽きて山みな甲斐に走りけり

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



た なか き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

た なか き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

春尽きて山みな甲斐に走りけり

(前田普羅)

〔句解〕春が終わると、山々の尾根がくっきりと現れ、どの山もどの山も生きいきとした姿で甲斐の国の方向に稜線を走らせていることだ。

〔鑑賞〕甲斐―山梨県の古い国名。

〈山みな甲斐に走りけり〉と断定的かつ動的にいいとったため、みずみずしく活気ある山巒のありさまでなく、山自身の喜ばしげな表情までも、きっぱりと鮮やかに描き出されている。

〔古筆参考〕

者^者者^者者^者者^者者^者
那^那那^那那^那那^那那^那
介^介介^介介^介介^介介^介
希^希希^希希^希希^希希^希
里^里里^里里^里里^里里^里

◆6月課題予告
〔解説〕「春」の縦に掛けて書く横線は、「春(はる)」として使う時は二本「春」、変体仮名の「春(す)」として使う時は一本「春」で書く。

衍^たして山ほとときすほしいま

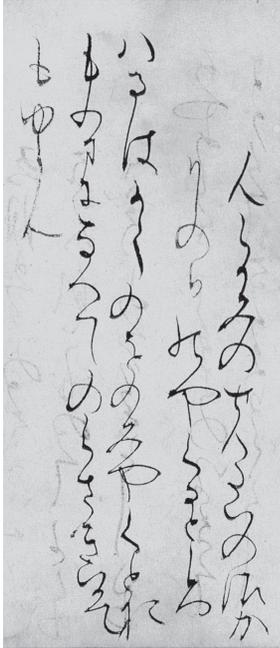
(杉田久女)

締切り 五月二十五日(必着)

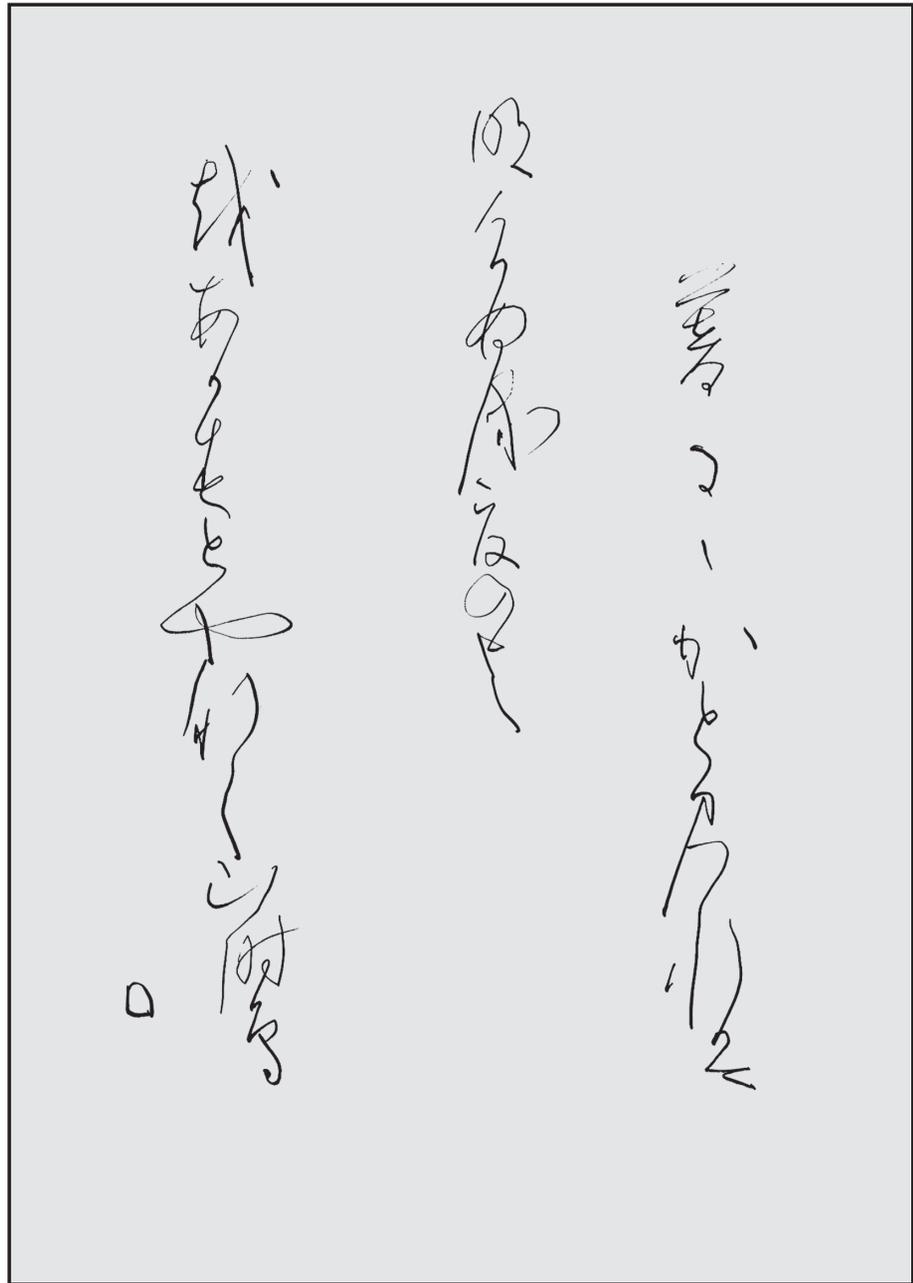
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

なかつかさしゅう
中務集



むらかみのせんだいの御か
りの日、のやくるところ
はるはかくのをのみやくとお
もふまになべてのくさまいか
もゆらん



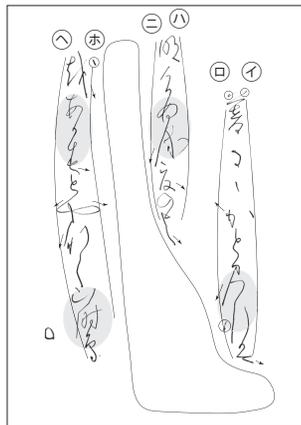
暮るゝかとみれば明けぬる夏の夜を
あかずとや鳴く山時鳥

〔歌意〕暮れるかと思うと、たちまち
明けてしまう、そんな夏の短い夜を、
もの足りなく思つて鳴くのか、あの山
時鳥は。

〔出典〕古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、①と⑪、①と⑫、①と⑬、①と⑭、①と⑮、①と⑯、①と⑰、①と⑱、①と⑲、①と⑳
- 行の中の密の動き大切。
- 余白、行の中のふくらみ大切。
- ◁ の方向、○ の位置大切。

◆6月課題予告

わがやどの池の藤波咲きにけり
山時鳥いつか来鳴かむ

締切り 5月25日(必着)

新緑が目にしみる候となりました。
最近話題の蕎麦打ち体験に行きま
せんか。それなりに体力を使う様
ですが、自分で打ちお腹も空いた
後のお蕎麦なら、出来はともかく
美味しさも倍増するでしょう。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できま
す。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課
題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

新緑が目にしみる候となりました。
最近話題の蕎麦打ち体験に行きま
せんか。それなりに体力を使う様
ですが、自分で打ちお腹も空いた
後のお蕎麦なら、出来はともかく
美味しさも倍増するでしょう。

横書き課題

「白鳥の湖」は1877年の初演から
現在も世界中で上演されている。

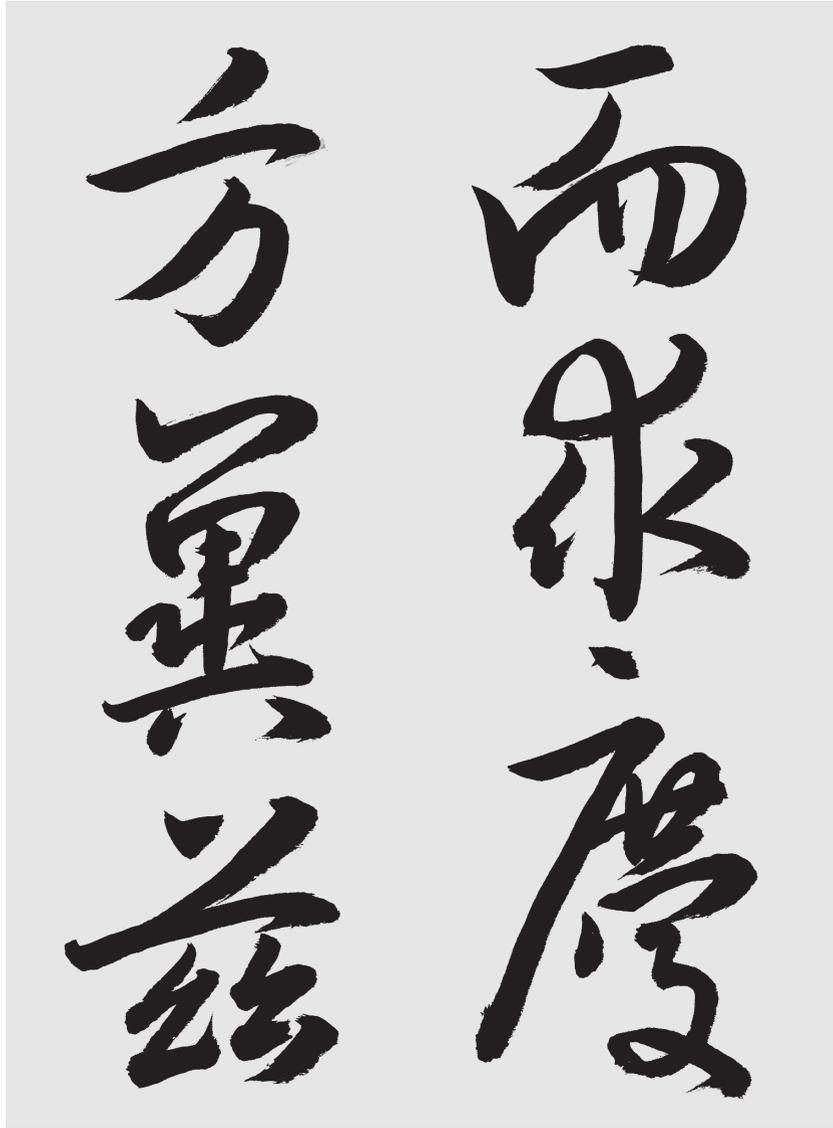
沖縄県南城市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 5月25日(必着)

而
求
慶
方
冀
茲



〔出典〕集字聖教序(672) 〔筆者〕王羲之法書より集字
〔読み〕慶を求め(ざらんや。)方に冀わくは茲の

準初段から師範まで

奥村暢之臨



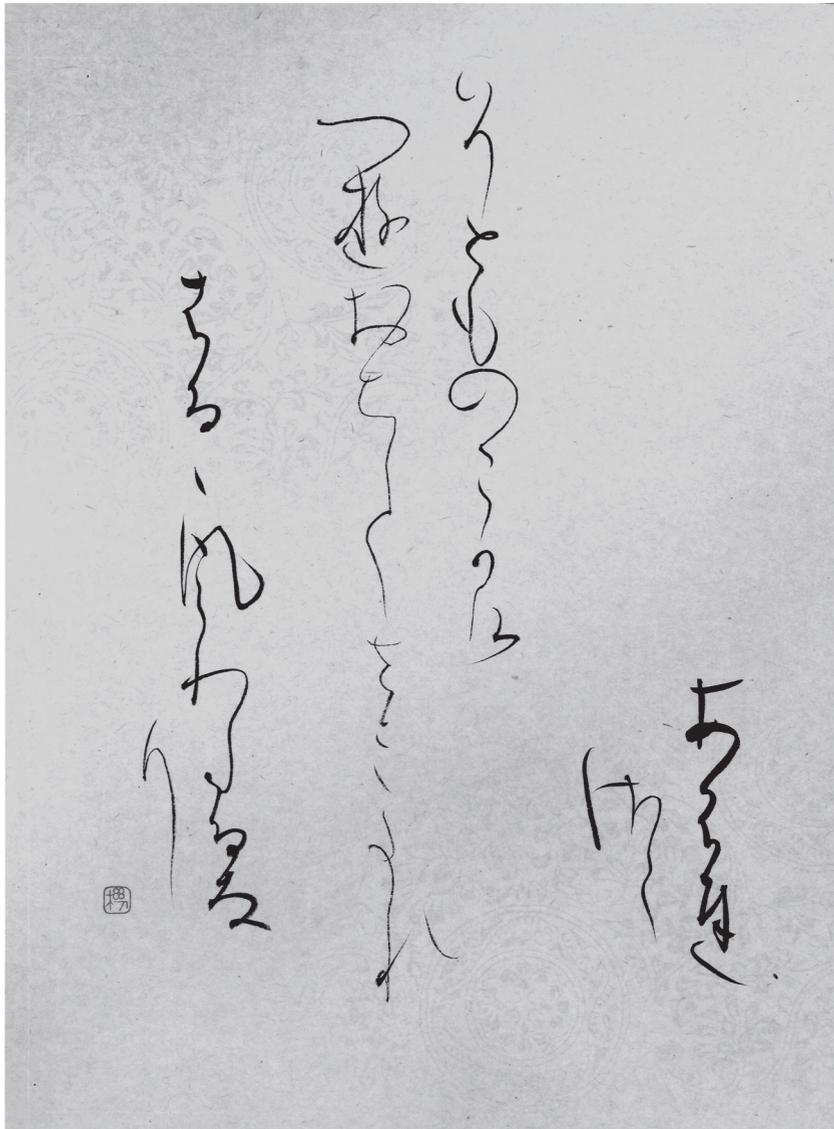
〔読み〕^{せんざんすいしよく} 千山翠色に添^そう
〔大意〕見渡す限りの山々に、鮮やかな翠が見える初夏の風景。

新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

一般部毛筆かな課題

締切り 5月25日(必着)



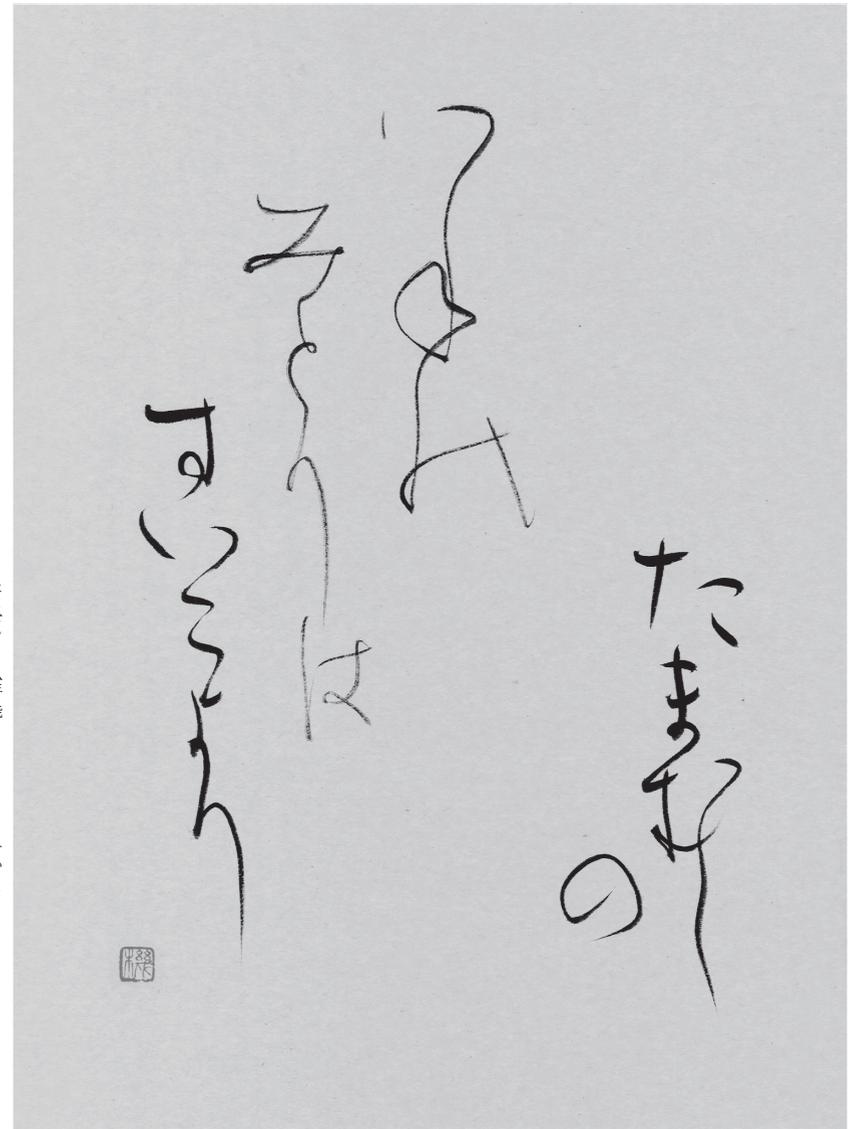
あ不選佐
 樗曾とも咲く外面の木陰露落ちて
 五月雨晴るる風渡るなり

〔出典〕 藤原忠良

〔歌意〕 樗の花が咲いている。戸外のその木陰には、露がこぼれ落ち、五月雨の晴れようとするのを思わせる風が吹き渡っている。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



新入から1級まで

浅井機山先生書

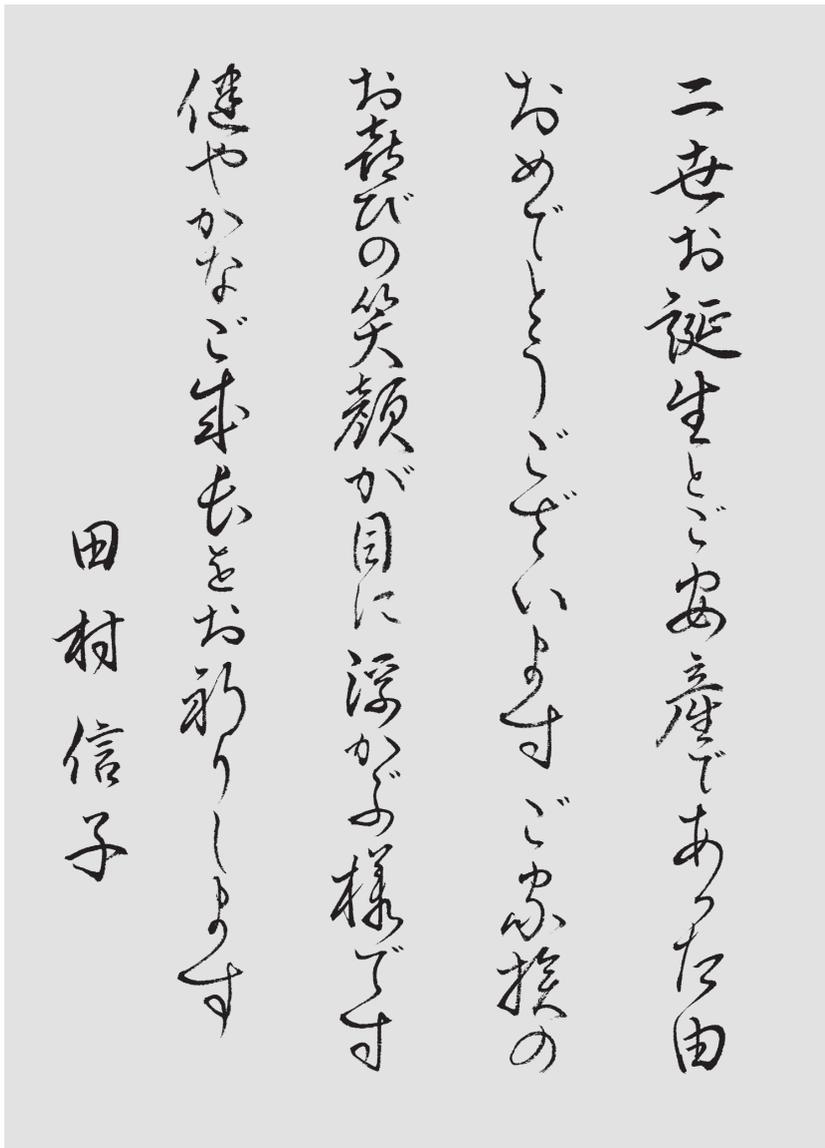
玉虫の羽のみどりは推古より

〔出典〕 山口青邨

〔句意〕 法隆寺の玉虫の厨子が背景にある。それは推古朝の遺産として日本文化の宝である。今、眼前の美しい玉虫に日本の美の伝統を見い出している。

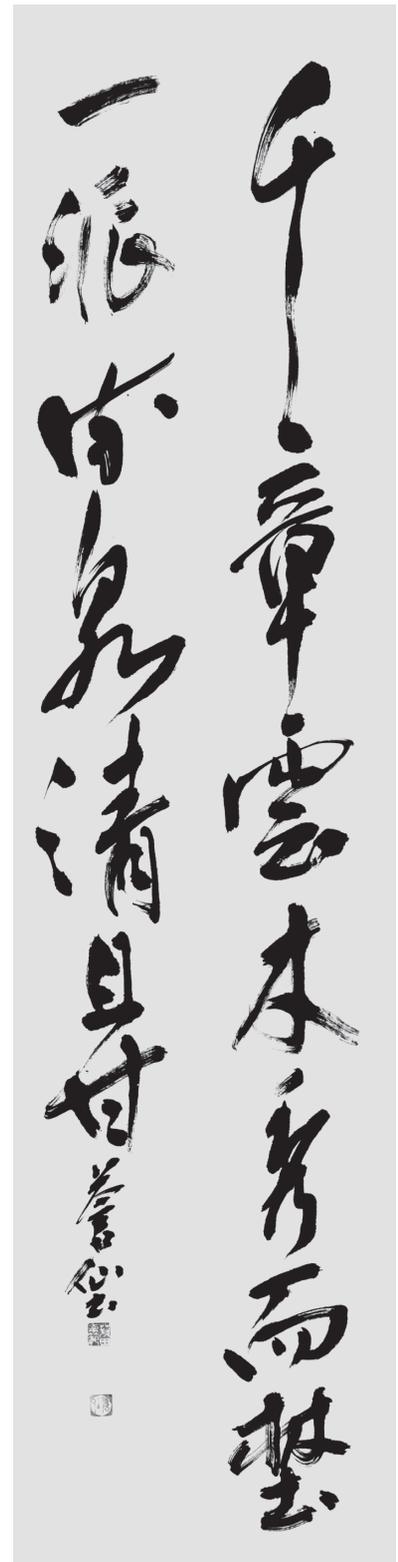
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 五月二十五日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

〔お詫びと訂正〕 四月号条幅課題の三字めの「楊」の草書は、正しくは「楊」でした。

お詫びし訂正させていただきます。

〔大意〕 千本の雲おびた喬木はすぐれた野趣がある。一すじの川の水は清らかな上に甘美だ。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕 作品づくりに古典の原寸より大きく使用する場合 (かなも同じ)、基本古典もさることながら創作的古典の多様な用筆法を身につけねばなりません。念のため、枳は「野」の古字。

二世お誕生とご安産であった由
おめでとうございます。ご家族の
お喜びの笑顔が目には浮かぶ様です
健やかなご成長をお祈りします

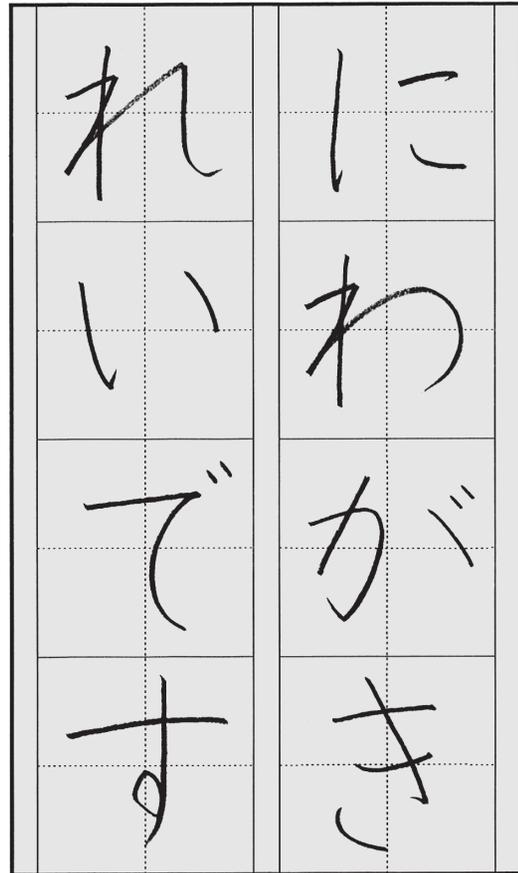
(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

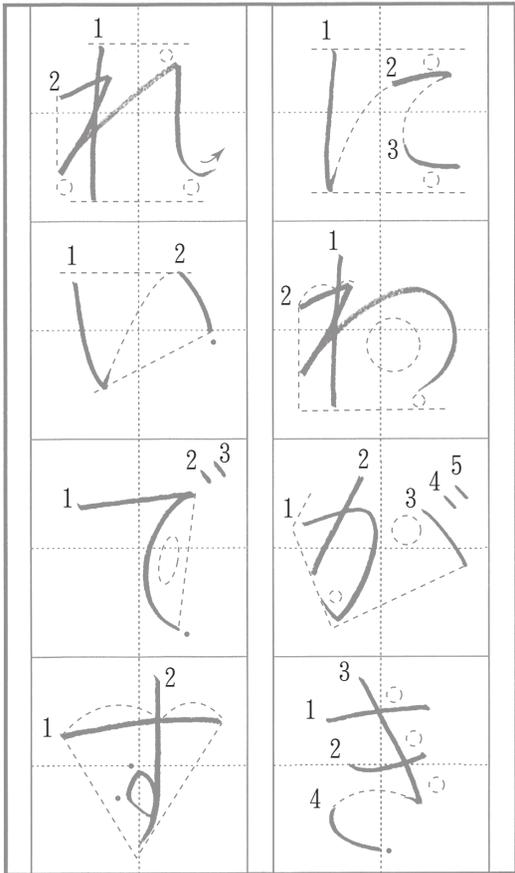
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

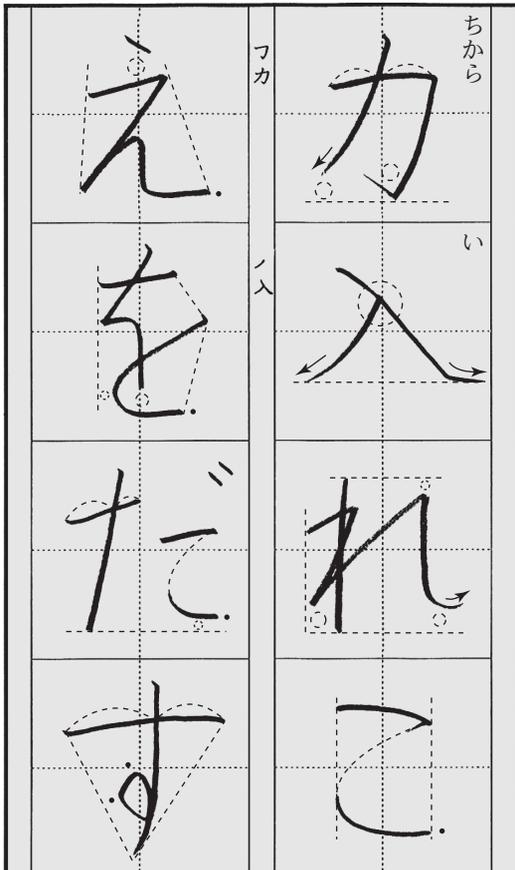
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

の	首 <small>クビ</small>
か	に
ざ	大 <small>ダイ</small>
り	小 <small>シヨウ</small>

新入〜1級

た	か	首
お	ざ	に
馬	り	大
さ	つ	小
ん	け	の

準初段以上

小二年

準初段以上

右 <small>ミドリ</small>	路 <small>ロ</small>
に	地 <small>ジ</small>
花 <small>はな</small>	の
が	左 <small>サ</small>

新入〜1級

虫	に	路
が	花	地
集	が	の
ま	さ	左
る	さ	右

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

トウ ノ人 東	ひと 人
キョウ 京	か か
タ 多	お お
まち 街	い い

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

い	空	大
混	港	型
雑	は	連
ぶ	す	休
り	ご	て

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

クウ 空	お 大
コウ 港	が 型
コン 混	レン 連
ザツ 雑	キョウ 休

小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

1 4 中 出 出		シユツ ノ イ 有 有 有	ユウ 有
丁 マ 理 理 現		ゲン フ カ	リョク 力
廿 廿 其 期 期		キ ハ サ 若 若 若	わか 若
行 社 社 待 待		タイ エ サ 者 者 者	もの 者

解説(よく見て習いましょう)

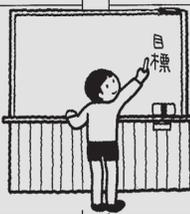
待	の	有	小 六 年 (全員)
が	出	力	
高	現	な	
ま	で	若	
る	期	者	

た	メ	評	中 二 ・ 三 年 (楷書)
映	で	判	
画	復	の	
監	帰	ア	
督	し	二	

徒	名	バ	中 一 年 (楷書)
歩	所	ス	
で	旧	降	
巡	跡	り	
る	を	て	

▼小三年以下の課題 田代華光書

書	み	目	一	黒
き	ん	ひ	学	板
ま	な	よ	期	に
ま	な	う	の	ク
し	で	を		ラ
た	決			ス
	め			の
	て			



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 5月25日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 清水希光書

感	美	雲	登	富
動	し	海	山	士
し	い	を	で	山
た	日	下	は	頂
	の	に		へ
	出	見		の
	に	て		



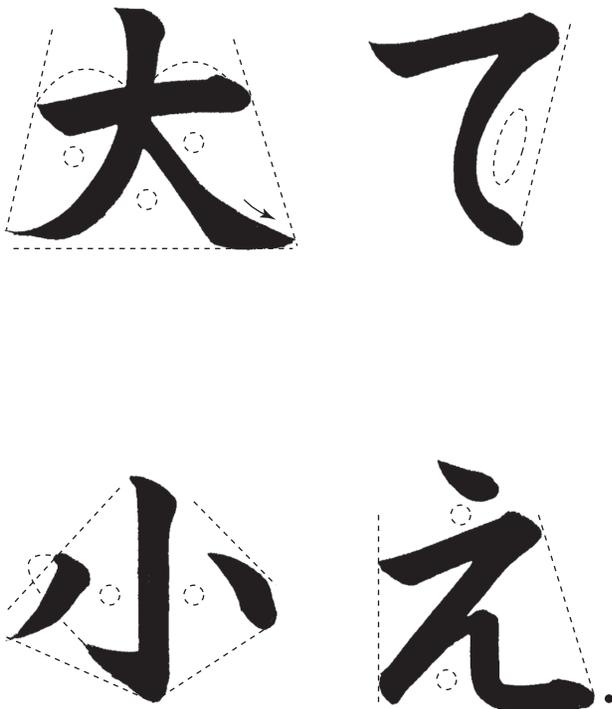
◎お手本はつけペン使用

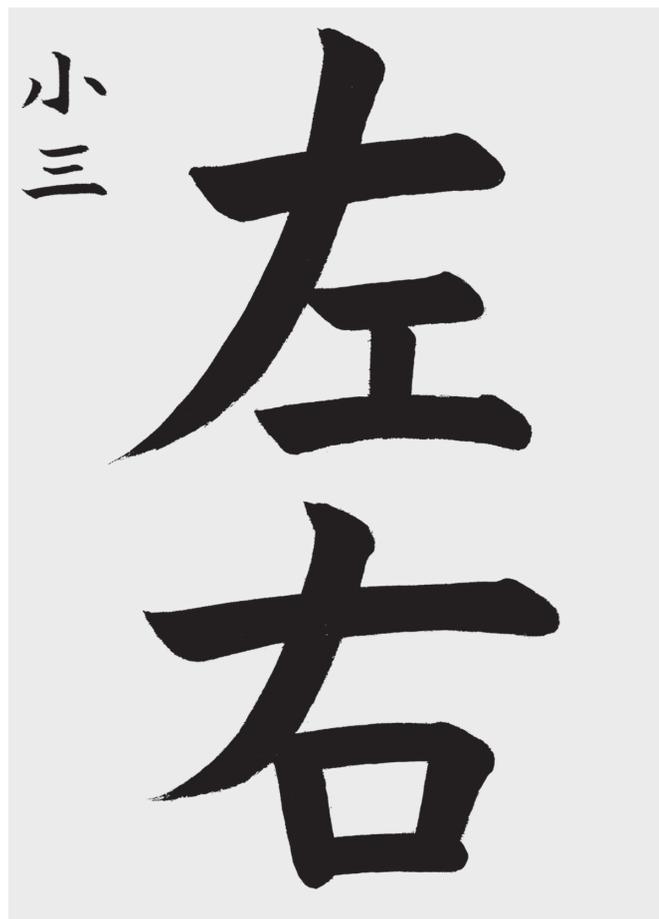
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年〜小二年
水野碧友書





小三く小五年
 玉たま樹き小しょう華か書

中二・三

映画

小六

期待

小六・中二・三年

水野の香竹書

歩

期

映

待

画

徒

中一

徒歩

第116回 硬筆検定試験受験要項

5月25日締切り

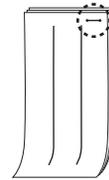
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、五月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を六月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 二〇一九年五月二十五日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 二〇一九年八月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) …… 一、〇〇〇円

規定 …… 一、二〇〇円

はがき・かな …… 一、六〇〇円

教育部 …… 六〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,000

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

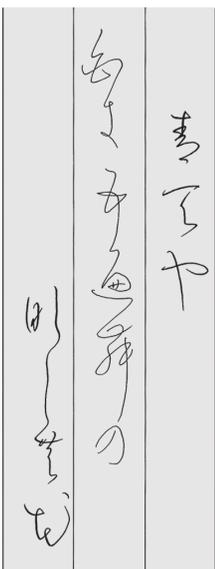
課題(ロ)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

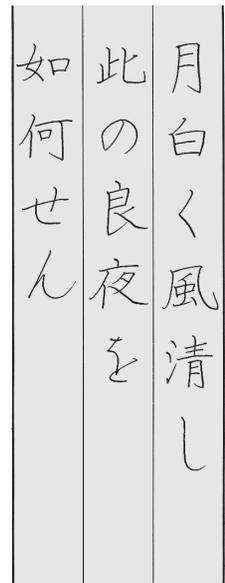
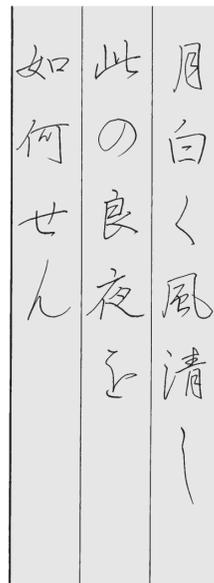
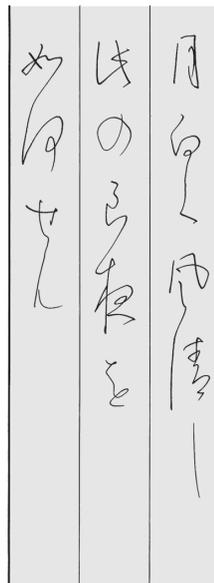
《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙



晴天や白き五弁の梨花(原石鼎)



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	2,800
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,000
教育部	普通コース			5月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	400
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		5月しめきりの月例競書課題と下記活字課題 ※筆記具は自由						2	700

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに
単位を取得されているも、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上上検定試験を受験しないと
無効になります。

規定

両コース共通

書範・教範コース課題

楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

万物皆大本より生ず

四海の人すべて

連なれる枝なり

かな

書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

み吉野の山邊に咲ける桜花

雪かとのみぞあやまたれける(古今和歌集)

はがき

両コース共通

子供の日には大勢でお邪魔した上、
大変お世話になり有難うござい
ました。楽しい一日で、我が家の
わんぱく連もすっかり満足した
ようでした。その時の写真を別送
しました。まずは一筆お礼まで。

(はがき用紙使用)

教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1	空	夕
	ま	や
	っ	け
	か	の

用具＝えんぴつ

小 3	で	新	さ
	コ	緑	わ
	ー	の	や
	ラ	公	か
	ス	園	な

用具＝鉛筆以外

小 4	走	勢
	り	い
	出	よ
	す	く

用具＝鉛筆以外

中 3	を	新	窓
	入	鮮	を
	れ	な	開
	よ	空	け
	う	気	て

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題

教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼五月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

雪	頂	晩
が	に	春
見	は	で
え	ま	も
る	だ	山

(行書)

第76回 毛筆検定試験受験要項

6月24日(日)締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 二〇一九年六月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 二〇一九年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題 五段コース以上
会友コース以上

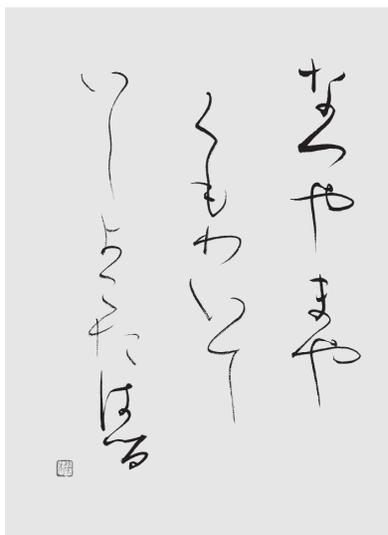
漢字半紙	一、〇〇〇円
細字・かな	一、五〇〇円
漢字半紙	一、二〇〇円
細字半紙	一、〇〇〇円
条幅	三、五〇〇円
細字	一、七〇〇円
教育部	八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,500
	三段コース	三段まで	20ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,000

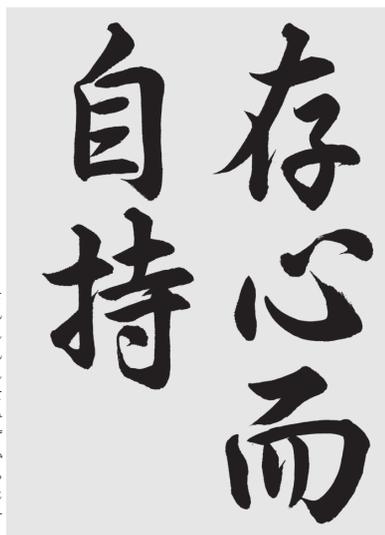
〔1級コース課題〕

《かな》



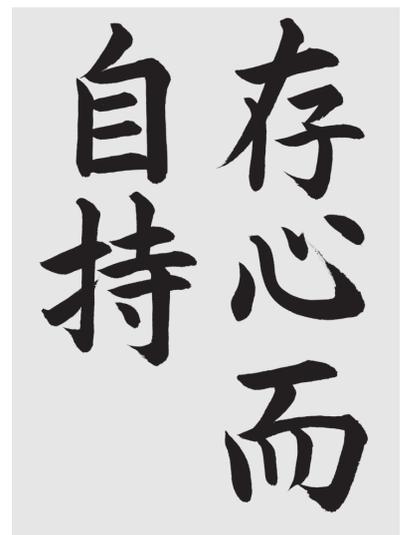
浅井機山先生書

《行書》



須田一葉書

《楷書》



夏山や雲湧いて石横はる

存心してみずから自持

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題								1	400	
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)								2	700	

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

五段・書範・教範コース課題

漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑



亡吳 霸越 之 弁

▼集字聖教序



方其 朗潤 故 以

▼書譜



謝安 素善 尺牘

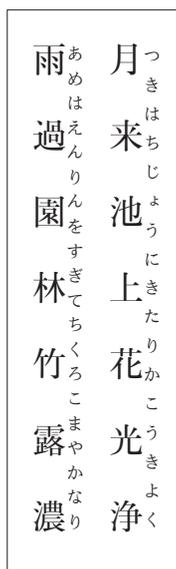
かな 三段コース以上共通(半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎鬼灯を口にふくみて鳴らすごと
蛙はなくも夏の浅夜を(長塚節)

※20頁参照

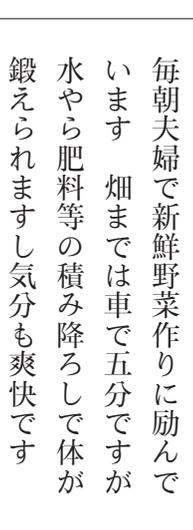
条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

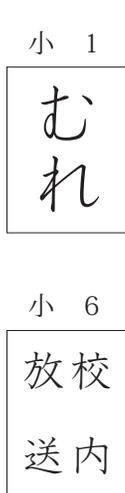


細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。



教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)



※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題



(行書)

▼六月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



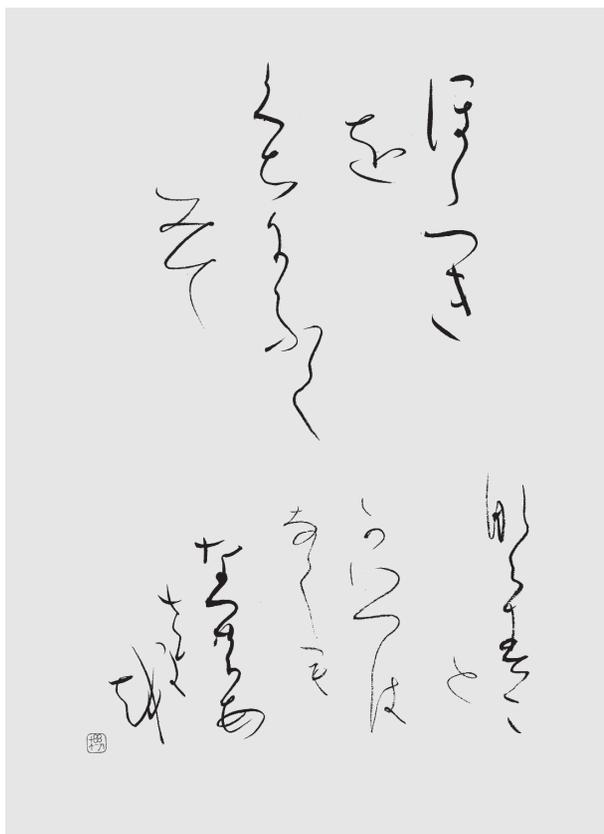
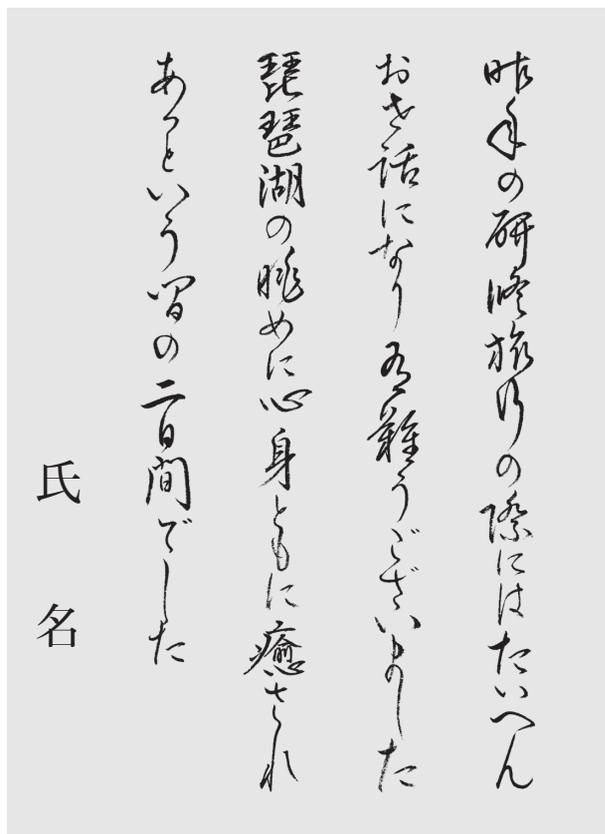
未形超六塵而

談之而不及于

神谷葵水先生臨

《細字》

《かな》



氏名

伊藤梅香書

浅井機山先生書

鬼灯を口にふくみて鳴らすこと
蛙はなくも夏の浅夜を
(長塚節)

※かな・細字課題は六月の月例課題を兼ねます。